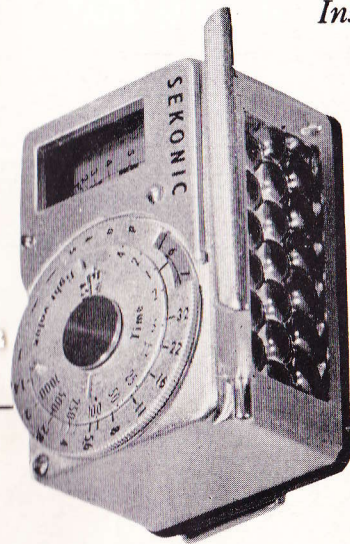


- スタジオ“S”映画技術者用高級メーター
- プロフェッショナルL-3b型 高級メーター
- ユニバーサルL-2型 高級メーター
- セコニック21型 Hi-Fiアンプ内臓
- リーダーデラックス“2” オートアンプシステム
- ディレクターL-8b型
- クリップオンLC-2型
- ガイドL-7型

発売元 株式会社 早苗商會
 東京都中央区日本橋本石町3-4 電話(24)6828-6829

関西発売元 株式会社 南光商會
 大阪市南区北炭屋町27 (大京ビル内) 電話(27)4905

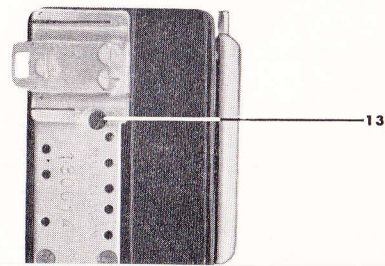
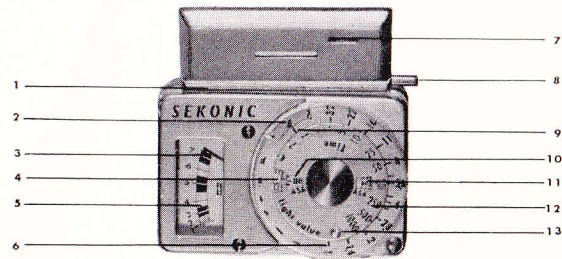
製造元 成光電機工業株式会社
 東京都豊島区堀之内199 電話(97)1116



Instruction Book of

SEKONIC CLIP-ON EXPOSURE METER

model LC-2



1. 赤印 (クローズド)
2. 光量ダイヤル
3. 指針
4. ライトバリュースケール
5. 光量スケール
6. 絞り目盛
7. 青印 (オープン)
8. プッシュボタン
9. 指示印
10. ASA (感光度) 窓
11. シャッタースピード目盛
12. ツマミ
13. 零調整ネジ

クリップオンメーターの特長

- クリップオンタイプ
- 反射光線式メーター
- 高低二段切換
- 絞り目盛 f1 ~ 32
- シャッタースピード目盛 4秒 ~ 1/1000秒
- ASA感光度目盛 6 ~ 3200
- ライトバリュースケール 2 ~ 19
- カメラに取付けたままで測定が出来ます。

セコニック・クリップオンについて

セコニック・クリップオンは反射光線式露出メーターです。

反射光線式というのは被写体から反射して来る光線を測って露出を決める方式（正確に云えば被写体の輝度を測定するメーター）です。セコニック・クリップオンはマルチフィルターの開閉により高照度と低照度が測定出来るようになっております。

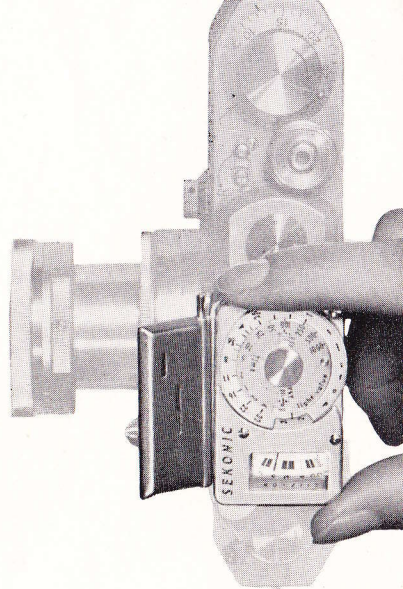
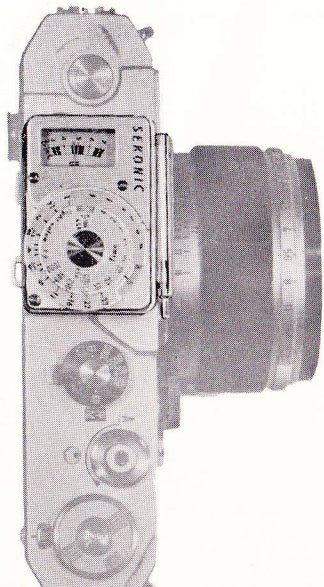
クリップオンはカメラのアクセサリシューに取り付けることが出来ますので、貴方のカメラが露出計付になり、露出の問題は解決されます。その他セコニック・クリップオンにはライトバリュー目盛が付いておりますので、ライトバリュー目盛付のカメラをお持ちの方は簡単に露出値が得られるようになっております。

セコニック・クリップオンの使い方

まず測定する前に貴方のお使いになるフィルムの感光度をツマミを廻して、赤または黒のASA窓へ正しく合わせて下さい。

ASA 100のフィルムをお使いの方は黒字のASA窓へ正しく合わせて下さい、ASA 80の場合には赤字のASA窓へ正しく合わせて下さい。なお同じフィルムでも太陽光の時と人工光の時では感光度は違って参りますから、フィルムに同封されている使用書をよくご覧になって下さい。

つぎにメーターをカメラに取り付け被写体に正しく向けますと、その被写体の明るさに応じて針が振れ明るさを指示します。その場合針の振れた位置が3よりも低い場合にはマルチフィルターを開いて測定して下さい。



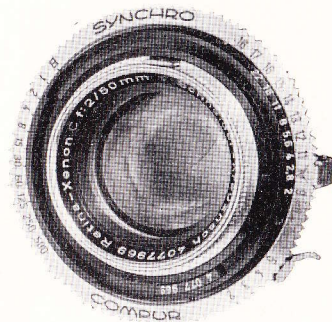
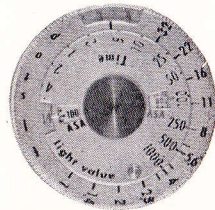
マルチフィルターを閉じて測った場合には針の振れた明るさの光量を読み取り、光量ダイヤル上の赤数字3から7までに指示印を合わせて下さい。またマルチフィルターを開いて測った場合には、固定ダイヤル上の黒数字1から7までに指示印を合わせて下さい。その場合絞りとシャッタースピードは自動的に組合わされますから、その中でどの組合わせを取ってカメラにセットされても正確な露出となりますから、被写体の状況によってどれか一つの組合わせを選んで下さい。

例えば、ASA 100のフィルムを使用してマルチフィルターを開いて測った場合、針の振れた明るさが5と出た場合、ダイヤル上の黒数字5に指示印を合わせますと、求める露出はF 4で1/100秒、F 5.6で1/60秒、F 8で1/25秒とそれぞれ組合わされております、またマルチフィルターを閉じて測った場合、針の振れた明るさが5と出た場合には、ダイヤルの赤数字に指示印を合わせますと、求める露出はF 32で、1/50秒、F 22で1/100秒というように組合わされますから、この中被写体の状況によってどれか一つの組合わせをとって下さい。

ライトバリュー

ライトバリューシステムのシャッター付カメラをお持ちの方は、このライトバリュー目盛で露出を決定して下さい。測定方法は同じで、ただ求められたライトバリューをカメラにセットするだけです。

もし感光度ASA 100のフィルムを使用して測定し、ライトバリュー目盛が14を示した時、カメラのライトバリュー目盛も14にセットして下さい。こうすれば被写体の状況によってカメラの絞りをF 8にすれば、シャッタースピードは自動的に1/250秒となります、反対にシャッタースピードの方を1/250秒にセットすれば絞りは連動してF 8になります。





カラー撮影について

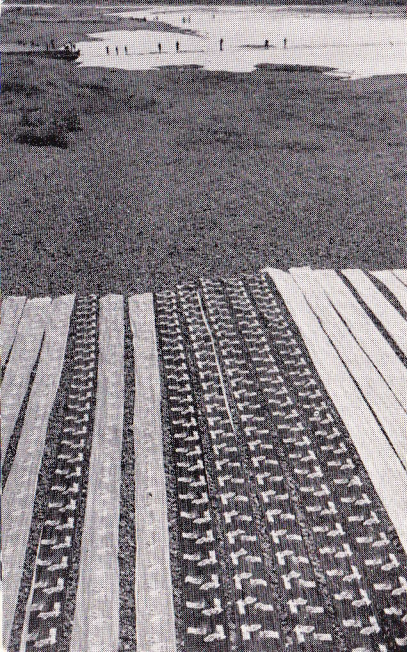
カラー撮影に露出メーターはなくてはならないものです。カラーフィルムはラチチュード(寛容度)が極めて少ないため、少しの露出の過不足があっても美しい色は再現出来ません。カラー撮影の場合の測定法は、ただフィルムの感光度を指定どおり正確にセットすることと明るい部分を常に露出の基準とすることです。またコントラストを光源の調節やレフの使用により1:4以内にする事が出来れば美しい色調に富んだ写真が得られます。なおカラー撮影の場合セコニック標準反射板をご使用になりますとよい結果が得られます。



人物撮影の場合

セコニック・クリップオンは反射光線式メーターですから、カメラに取り付けて、受光部を被写体に向ければよいわけですが、これでは勿論被写体の反射光線も入って来ますが、それ以外にバックの光、空の光線、路面の照り返し等が入って適正露出は得られないことになります。ですから被写体の適正露出を得るにはカメラより取り外し出来るだけ被写体に近寄り、被写体の反射光線(光量)のみを正しく測らなければなりません、メーターと被写体との距離は約10cmが一番適しておりますが、その際メーターの影をつくったり、またその影を測ったりしないように注意して下さい。被写体の明暗差、例えば白い上衣に黒いズボンをはいていた場合、メーターを近づけて明るい上衣の部分だけを測ったのでは他の部分は露出不足になり、また逆に黒いズボンを測ったのでは同じように適正露出は得られないことになります。この場合被写体の最明部の最暗部を測ってその中間の値をとればよいでしょう。またセコニック標準反射板を使用すれば被写体の各部を測る必要はなく簡単に適正露出が得られます。





風景の場合

風景やスナップ等被写体に近寄れない場合には、メーターをカメラに取り付け、直接被写体、または目的の中心にメーターを向けて測って下さい。ただしこの場合空の光線が入らないように少し斜め下に向けて測って下さい。しかしその風景が広く展開した風景であったり、また遠くの山々を写すような場合は前のようにして得られた値を $1/2$ 切りつめて下さい。もしF22で、 $1/100$ 秒とダイヤルが組合わされましたら $1/100 \times 1/2 = 1/200$ でF22で、 $1/200$ 秒となります。

スナップ撮影の場合には風景と同じ測り方をして下さい。ただし切りつめる必要はありません。またセコニック標準反射板を使用すれば最もよい結果が得られます。



海岸・雪中の人物

人物を雪景色や海岸などの光源の強い場所で撮影するには、カメラに取り付けて測った場合、被写体のまわりをとり囲んでいる物体から必要以上に強い反射光線をメーターに受けますから、指示された目盛りより一段低い数字を読みとって下さい。しかし被写体に近寄って測った場合や、標準反射板を使用した場合にはこの必要はありません。

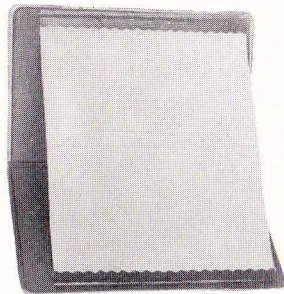


非常に暗い場所

非常に暗い場所ではマルチフィルターを用いて測って下さい。もし針の振れない場合には直接被写体の位置から光源に向けて測って下さい。もし光源が二つも三つもある場合にはその主光源に向けて測ります。

指示どおりダイヤルを合わせ得られた値を10倍して下さい。例えばF5.6で $1/10$ 秒ならば $1/10 \times 10 = 1$ でF5.6で1秒が求める露出となります。

セコニック標準反射板について

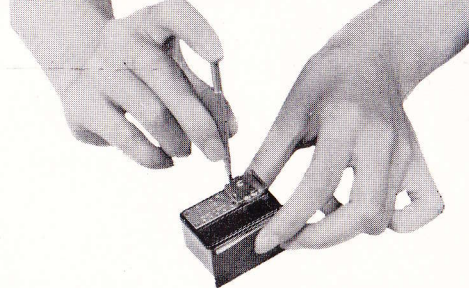


被写体の反射光線の明暗の平均を簡単に得るためには標準反射板を利用すれば便利です。標準反射板は標準反射率18%の無彩色に塗られたものですから、どんな状態の光線でも18%より反射して来ませんから、いつでも標準の値、つまり平均した値が得られるわけです、明暗各種のコントラストがある場合には簡単に中間の値が得られるわけです。この場合には標準反射板を被写体の面に正しく平行に立て約10センチメートルの間隔で反射光をメーターで測りその値をカメラにセットすればよいわけです。

カラー撮影の場合はカラーフィルムは白黒フィルムと根本的にその性質が異なり、反射率の違う各部分の色をそのまま発色させるわけですから、平均した値である標準反射板で測定した方がよい結果が得られます。

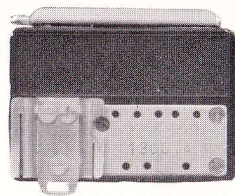
ゼロ調整

メーター受光部に光が入らないように完全に覆っても、指針が0の位置から多少ずれることがあります。この場合受光面に光が少しも入らぬよう完全に覆って裏側のゼロアジャストネジを小さいドライバーで静かに右、または左に廻して針を正しく0の位置までもって行って下さい。



セコニッククリップオンの注意

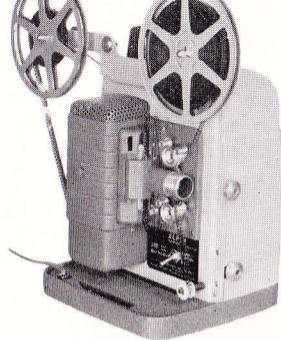
カメラによってアクセサリシューの位置が違ふ場合がありますが、その場合シューの位置をカメラのクリップに合うように移動して下さい。



セコニックはアフターサービスに特に重点を置いておりますから、いつまでも安心してご使用になれます。このメーターのパッケージに同封しておりますファンカードにそれぞれ記入事項をお書き込みの上、直ちに弊社サービス部宛お送り下さい。ファン名簿（登録台帳）に貴方の御氏名を記載の上早速登録通知書をお送り申し上げ、この日よりもし一カ年の間にメーターが自然に具合が悪くなりましたら無料で修理申し上げます。ただ不注意による故障については実費修理申し上げます。（故障の場合は直接弊社修理部宛お送り願います、到着日より五日以内に修理申し上げます、早速ご返送致します。）

メーター取扱上の注意

1. 湿気の多いところへ長い間放置しないようにして下さい。
 2. 摂氏60度以上の高温を与えないようにして下さい。
 3. 急な衝撃を与えないようにして下さい。
 4. 長い間使用せずにしまっておく時は、革ケースより取り出し、桐箱等にシリカゲル（防湿剤）と一諸に保存して下さい。
- ただし金庫や金属の容器への保存は避けて下さい。



アルペン映写機の特長

- 100 V 50~60サイクル
- 500 Wランプ直射式光源
- 映写レンズ f 1.5 24mm
- 回転円板シャッター
- 特殊送風機（blowev）によるモーターランプの完全冷却作用
- スイッチはモーター駆動、ランプ点火の二段切換式
- 使用可能リールは 400フィート巻まで
- 特殊軽合金使用による最低映写音
- リールアームが折畳み式ですから、携帯には非常に便利に出来ております

楽しい漫画 アルペングラフ